

令和 8 年度 愛媛県 英語教育改善プラン

目標

「言語活動を通して」資質・能力を育成する授業改善を推進することで、自分の置かれた状況から判断して必要な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることができる児童の育成

☒ 言語活動
 ☒ 指導と評価の一体化
 ☒ 教師の英語力・指導力
 ☐ 校種間連携
 ☐ ALTの参画
 ☒ ICTの活用
 ☒ AIの活用
 ☐ その他

(パフォーマンス含む)

(専科教員含む)

(AIを除く)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ①CAN-DOリスト形式の学習到達目標の整備
R5 設定・公表・把握
全て100%
- ②R6全国学力・学習状況調査の質問調査
「英語の勉強は好きですか。」
(R5:74.3%⇒R6:75.3%
全国1位)

未だ改善が必要な点

- ①【児童】
 - ・話される英語を聞いて、必要な情報を聞き取ること。
 - ・話される英語を聞いて、その内容を踏まえ、関連する質問をしたり、自分の考えや気持ちを伝えたりすること。
- ②【教師】
 - ・目的・場面・状況等に応じて自分の考えを伝える言語活動の効果的な実施
 - ・自身の英語力に対する不安の軽減

2. 要因分析

- ①CAN-DOリストの役割とその重要性、作成・活用の仕方等についての講義・演習・協議の実施
- ②授業改善、単元計画作成、授業実践のサポートの実施

①【児童】

- ・英語による「インプット」及び「アウトプット」量の不足
- ・英語によるコミュニケーションに対する心理的ハードル

②【教師】

- ・『「言語活動を通して」資質・能力を育成する』ことへの理解不足
- ・授業における的確な見取り及び評価の適切なフィードバックについての研修の不足
- ・日々の業務の多忙さによる、自身の英語力向上に向けた取組の不足

3. 目標を達成するための施策・事業

②①②児童の英語力向上に向けて

- (1) 英語力向上講座 英語学習への意欲喚起や資格取得に向けた対策講座を提供
「エレメンタリー」(小5・6)、「ベーシック」(英検4級)、「スタンダード」(英検3級)の3講座
- (2) 英語学習成果確認教材の作成

①②①②教師の授業力向上に向けて

- (1) フリートーク教材を活用した英語授業研究会
生成AIを活用したフリートーク教材を活用した授業を公開し、好事例の横展開を図る。
小3校、中3校 計6校で授業を公開
- (2) 英語コミュニケーション能力強化のための英語授業力強化研修会
民間英語教育事業者と連携し、言語活動を中心とした授業改善を推進するため、県内英語担当教員の「英語コミュニケーション能力強化のための英語授業力」の強化を図る。
- (3) 英語スピーキング及び記述式問題の採点補助機能開発・運用
県学力診断調査及び英語学習成果確認テスト(E-ACT)の「話すこと」「書くこと」の問題の採点補助機能を開発・運用する。

②県教育委員会主催「TOEIC L&R IPテスト(オンライン)」の実施

教師自身の英語力向上に向けた取組の成果を確認する場を県教育委員会が提供
(年2回:8月、12~1月)

○一定の英語力を有する小学校教師の新規採用に係る取組

【加点制度】

教員採用選考試験において、小学校教員受験者のうち、次の資格等を有する者に対して、前期第1次選考試験及び後期選考試験の合計点に加点する。

- ・英検1級、準1級相当の高い英語力を有する者
- ・中学校(英語)免許状保有者

① 大学等説明会

一定の英語力を有する者への加点について、教員採用選考試験説明会で重点的に説明する。

② ホームページでの啓発

「愛媛県教員採用情報ホームページ」に一定の英語力を有する者への加点についての説明を掲載する。

令和 8 年度 愛媛県 英語教育改善プラン

目標

「言語活動を通して」資質・能力を育成する授業改善を推進することで、自分の置かれた状況から判断して、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすることや英語で聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えとその理由を正しく話したり書いたりすることができる生徒の育成

○CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合 (R7: 49.8% ⇒ R8: 57.5%)

☒言語活動
 ☒指導と評価の一体化
 ☒教師の英語力・指導力
 ☐校種間連携
 ☐ALTの参画
 ☒ICTの活用
 ☒AIの活用
 ☐その他
(パフォーマンステスト含む) (AIを除く)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ① CAN-DOリスト形式の学習到達目標の整備
R5 設定・公表・把握 全て100%
- ② 授業時間の50%以上で言語活動を行っている学校
R4 R5
72.4% > 77.3%

未だ改善が必要な点

- ①【生徒】
○CEFR A1相当以上の中3生
R6 R7
49.0% > 49.8%
○R5全国学力・学習状況調査
平均正答率 愛媛 43
全国 46
・自分の置かれた状況から判断して、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすること
・英語で聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えとその理由を正しく話したり書いたりすること
- ②【教師】
・目的・場面・状況等に応じて自分の考えを伝える言語活動を通じた指導

2. 要因分析

- ① CAN-DOリストの役割とその重要性、作成・活用の仕方等についての講義・演習・協議の実施
- ② 授業改善、単元計画等作成、授業実践及び実践事例作成等のサポートの実施

- ①【生徒】
・英語による「インプット」及び「アウトプット」量の不足
・英語によるコミュニケーションに対する心理的ハードル
- ②【教師】
・学習指導要領の趣旨、今求められている英語の授業のイメージの浸透が不十分
・『言語活動を通して』資質・能力を育成することへの理解不足
・求められる英語力を身に付けさせるための授業改善が不十分

3. 目標を達成するための施策・事業

②①②生徒の英語力向上に向けて

- (1) 英語力向上講座
英語学習への意欲喚起や資格取得に向けた対策講座を提供
「エレメンタリー」(小5・6)、「ベーシック」(英検4級)、「スタンダード」(英検3級)の3講座
- (2) 英語学習成果確認教材の作成

①②①②教師の授業力向上に向けて

- (1) フリートーク教材を活用した英語授業研究会
生成AIを活用したフリートーク教材を活用した授業を公開し、好事例の横展開を図る。小3校、中3校 計6校で授業を公開
- (2) 英語コミュニケーション能力強化のための英語授業力強化研修会
民間英語教育事業者と連携し、言語活動を中心とした授業改善を推進するため、県内英語担当教員の「英語コミュニケーション能力強化のための英語授業力」の強化を図る。
- (3) 英語スピーキング及び記述式問題の採点補助機能開発・運用
県学力診断調査及び英語学習成果確認テスト(E-ACT)の「話すこと」「書くこと」の問題の採点補助機能を開発・運用する。

②県教育委員会主催「TOEIC L&R IPテスト(オンライン)」の実施

教師自身の英語力向上に向けた取組の成果を確認する場を県教育委員会が提供(年2回: 8月、12~1月)

令和 8 年度 愛媛県 英語教育改善プラン

英語授業改善や、学習評価の妥当性及び信頼性を高めるため、有識者等を活用した情報提供、好事例の横展開を図るとともに、外国大学の日本校との連携や海外留学の費用補助など、充実した英語学習環境の整備を行うことなどにより、生徒の英語力向上を図る。

○CEFR A2/B1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合
(R7: A2以上 54.0%、B1以上 23.1% ⇒ R8: A2以上 58.0%、B1以上 28.0%)

目標

☒ 言語活動 ☐ 指導と評価の一体化 ☒ 教師の英語力・指導力 ☐ 校種間連携 ☒ ALTの参画 ☐ ICTの活用 ☐ AIの活用 ☐ その他
(パフォーマンステスト含む) (AIを除く)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する高校 3 年生の割合の増加

R 6 R 7
53.4 % > 54.0 %

②英語の総授業時間の50%以上の時間、ALTが参画した学校の割合

R 6 R 7
15.2 % > 16.9%

①授業中、発話の50%以上を英語で行っている学校の割合の伸び悩み

R 6 R 7
37.9 % > 35.8 %

2. 要因分析

①研修会等の参加者が、同研修会で提供された情報や実践事例を、所属校のほかの英語担当教師と共有し、授業や学習評価の改善が図られたことによる。また、各校において、生徒の対外発信能力を高めるため、外国語指導助手の積極的な活用が図られたことによる。

②学校訪問研修、教育課程研究会等において、チームティーチングの実践事例について共有・横展開を図り、授業におけるALTの活用を呼び掛けたことによる。

①知識・技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用し、繰り返し思考・判断・表現することを通して獲得させる授業づくりをすることができていないことによる。

①生徒が英語に触れる機会の充実を図り、授業を実際のコミュニケーションの場面とすることができていないことによる。

3. 目標を達成するための施策・事業

- 主に教師の指導力向上、生徒の対外発信力の向上を目的とした取組
 - ①英語ディベート指導研究委員会
 - ・対象：県立高校及び中等教育学校から20名の英語担当教師を委員に指名
 - ・内容：技能統合型の言語活動、即興性を伴う言語活動を活性化するための指導方法の研究を行う。
◎「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を意識した研究とする。
 - ①①英語ディベート・コンテスト
 - ・対象：県立高校及び中等教育学校から希望者(24チーム)を対象とする。
 - ・内容：4人1組によるトーナメント方式での英語によるディベート大会を開催する。優勝・準優勝チームに全国大会出場権を与える。
 - ①②①学校訪問研修・教育課程研究集会
 - ・対象：県立高校及び中等教育学校の教師
 - ・内容：学習指導要領の趣旨の実現に向けた講義を実施するとともに、喫緊の課題の解決に向けた研究協議を実施する。
 - ①②①①外国語指導助手の配置
 - ・生徒がネイティブスピーカーから直接学ぶ機会の充実を図る。
(参考) 令和6年度に11名増員し、県立高校及び中等教育学校に計45名のJET-ALTを配置
 - ①①①日本人英語教師スキルアップ研修プログラム
 - ・対象：県内の英語教育をリードする教師(高度な英語力を有する生徒への指導に対応できる教師)10名
 - ・内容：テンブル大学ジャパンキャンパスによる研修プログラムを受講
対面セミナー3回 ビデオレクチャー6回
- 特にグローバルに活躍することが期待される層の拡充のための取組
 - ①①高校生海外留学補助金の支給
 - ・対象：県内の県立学校、国、私立高校に在籍する生徒
 - ・内容：海外の正規の後期中等教育機関、語学学校等に原則10日以上1か月未満留学する生徒に一人当たり6万円を支給する。
 - ①①①えひめ版「国内留学プログラム」
 - ・対象：県立高校及び県立中等教育学校の生徒25名
 - ・内容：テンブル大学ジャパンキャンパスでの英語学習プログラムに参加
 - ①①①海外留学
 - ・短期(2週間程度)：令和8年度国際科等を設置した2校及び令和9年度国際科等を設置予定1校の生徒100名
 - ・長期(1年間程度)：令和8年度国際科等を設置した2校の生徒4名[R9実施]

愛媛県教育委員会

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
高等学校	①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）		50.0%	51.2%	53.0%	53.4%	56.0%	54.0%	58.0%		60.0%	
	①CEFR B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）			19.1%	22.0%	23.2%	25.0%	23.1%	28.0%		30.0%	
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）		100%	48.0%	100%	54.9%	100%		100%		100%	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した学校の割合（％）			70.9%	100%	90.5%	100%		100%		100%	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100%	100%	100%		100%		100%		100%	
		公表（％）	100%	32.8%	100%		100%		100%		100%	
		達成状況の把握（％）	100%	46.9%	100%		100%		100%		100%	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％）		90.0%	88.6%	90.0%	90.3%	90.0%	90.0%	90.0%		90.0%	
	⑥英語担当教員が授業における発話の半分以上を英語で行っている割合（％）		100%	33.8%	100%	37.9%	100%	35.8%	100%		100%	

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）		50.0%	48.0%	52.5%	49.0%	55.0%	49.8%	57.5%		60.0%	
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）		80.0%	77.3%	80.0%		82.0%		84.0%		86.0%	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した学校の割合（％）		100%	94.5%	100%		100%		100%		100%	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100%	100.0%	100%		100%		100%		100%	
		公表（％）	100%	100.0%	100%		100%		100%		100%	
		達成状況の把握（％）	100%	100.0%	100%		100%		100%		100%	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％）		56.0%	54.1%	56.0%	55.5%	58.0%	55.7%	60.0%		62.0%	
	⑥英語担当教員が授業における発話の半分以上を英語で行っている割合（％）		80.0%	64.4%	80.0%		82.0%		84.0%		86.0%	

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100%	100%	100%		100%		100%		100%	
		公表（％）	100%	100%	100%		100%		100%		100%	
		達成状況の把握（％）	100%	100%	100%		100%		100%		100%	